

和食文化学会誌「和食文化研究」論文等公募要項・投稿規定

2018年8月1日 和食文化学会

編集委員長 新川 達郎

和食文化学会は、学会誌である「和食文化研究」（英文名 Japanese Food Studies）を創刊することといたしました。本誌は、本学会設立の趣旨に基づいて和食文化を探求しようとするものであり、和食文化はもとより世界の食文化に関する研究と情報交換の場としたいと考えています。そのため本学会誌においては、実務家・実践者か研究者かを問わず幅広い分野からの参画を期待しておりますし、さまざまなステークホルダーを含めた諸活動に触発されまたそれらを基礎付けることができる新たな学問分野の創成という観点からの論文や報告を期待しています。

こうした趣旨から、本学会の創刊号の発刊に当たり、下記のような投稿規定に基づき論文または報告を募集いたします。本学会会員の方々には振るってご応募ください。また、会員ではない方につきましても、和食文化あるいは食文化にご関心の皆様で投稿をお考えの方々におかれましては、この機会にぜひ入会を頂き、投稿をいただければ幸いです。

なお、本学会は従来の研究分野を超えた学際的あるいはそれを超える成果を目指しております。したがって、当該論文等の研究内容において個別学問分野に対応する学術雑誌がある場合はそちらに投稿していただくようお願い申し上げます。

1. 投稿の種類

『和食文化研究』の公募原稿は、「論文」と「報告」とします。

1-1. 「論文」の形式、内容、分量などについて

- ① 「論文」は和食文化に関する研究論文とします。
- ② レフェリー制度を採り、査読付き論文として、掲載することとします。
- ③ 言語は、日本語または英語とします。
- ④ 日本語の論文の文字数は全体で1万字から2万字程度とします。
- ⑤ 英語の場合は全体で3000語(3000 words)から6000語(6000 words)程度とします。

1-2. 「報告」の形式、内容、分量などについて

- ① 「報告」は和食文化に関連する現状、実践、資料、所感などとし、幅広い内容とします。
- ② 編集委員会における検討を経て掲載することとします。
- ③ 言語は日本語または英語とします。
- ④ 日本語の報告は全体で5千字から1万字程度としますが、柔軟に考えることとします。
- ⑤ 英語の場合は全体で1400語(1400 words)から3000語(3000 words)としますが、柔軟に考えることとします。

2. 原稿の書式

2-1. 本文について

- ① 冊子は、和文につきましては、縦書きとなります。和文原稿は縦置きを前提に作成してください。和文原稿は、原則として Microsoft Word 文書（日本語用）で作成し、PDF 形式に変換してください。なお英語原稿は横書きで、同様 Microsoft Word にて作成し、PDF 形式に変換してください。投稿応募原稿は、Word 文書と PDF ファイルの両方を電子データで提出してください。
- ② 冒頭に、投稿の種類（「論文」または「報告」、論題と氏名及び執筆時点での所属・職名を明記してください。日本語原稿と英語原稿とを問わず、日本語と英語の論題、氏名、所属・職名を記してください
- ③ 見出しや本文中の数字は全角・漢数字、欧文は半角・横書き、句読点は「、」、「。」、「（ ）」や記号類は全角を使用してください。英文原稿の場合には、すべて半角、横書き、句読点はカンマ、ピリオドとしてください。
- ④ 章番号は、一、二、三、節番号は、一一一、一一二、一一三（一はハイフン）とし、以下これに準じます。英文原稿の場合は、半角アラビア数字で同様としてください。
- ⑤ 日本語原稿の本文は MS 明朝、タイトルは MS ゴシックを使用してください。英語原稿は、Times New Roman とし、タイトルはイタリックにしてください。
- ⑥ 論文については、文末に日本語と英語による要約を付してください。日本語の場合は 400 字程度、英語の場合は 140 語（140 words）程度としてください。

2-2. 図表について

- ① 図表には通し番号を付け、出典を明記してください。
- ② モノクロ印刷で十分判別できることを確認し、入稿時にはできるだけ解像度の高い画像をご用意の上、挿入場所を指定してください。写真は「図表」扱いです。
- ③ 原則として、図表全体が A5 版縦 1 ページ内に納まり、かつ文字の判読ができる大きさにしてください。

2-3. 注、参考文献について

- ① 参考文献（史料）及び注記は、本文の最末尾に記載してください。
- ② 注を入れる場合には、（１）（２）（３）のように、右下付き・全角上下カッコ付きの算用数字による連番を付し、本文の後に「注」の見出しを設けて、一括掲載してください。英文原稿の場合は、右上付き半角とし、その他は日本語と同様としてください。
- ③ 参考文献の掲載順は、著者名五十音順で、同一著者の場合には発行年順とします。英文の場合は著者名アルファベット順とします。
- ④ 書誌情報の書き方は、欧文横書き文献の場合は原則として科学技術情報流通技術基準（SIST02）に従うこととし、その他は各学問分野での慣例に従ってください。

3. 投稿の資格と内容

3-1. 投稿者の会員資格

- ① 投稿の応募ができる資格は、本学会会員であることとします。
- ② 複数の著者による連名の論文の場合には、筆頭筆者は本学会会員であることとします。
- ③ 会員ではない方の投稿につきましては、合わせて入会申請をお願いします。入会が認められ次第、登載に向けて所定の手続きに入ります。

3-2. 投稿内容の条件

- ① 投稿論文は、和食文化化学に関してオリジナリティと信頼性のある初出のものとし、ただし、学会発表における予稿集掲載の原稿、公刊されていない研究報告書や学位論文の一部等は投稿できるものとします。
- ② 投稿論文については、他のジャーナル等への投稿中のものはご遠慮ください。
- ③ 報告についても原則として初出としますが、再録に問題がないものについては編集委員会にご相談ください。

4. 採録の手続きおよび刊行条件

4-1. 論文の査読

- ① 投稿いただいた論文については、編集委員会において査読者(レフェリー)を依頼し、その判定結果にしたがって、採録の可否を決定します。
- ② 査読者の判定によりましては、執筆者に1ヶ月程度の時間をおいて修正をお願いすることがあります。
- ③ 採否につきましては、編集委員会からご連絡申し上げます。

4-2. 報告の採録について

- ① 報告の投稿応募については、編集委員会で、本学会誌の趣旨に沿うかどうかを検討いたします。
- ② 編集委員会の判定によりましては、1ヶ月程度の期間を置いて、修正をお願いすることがあります。
- ③ 採否につきましては、編集委員会からご連絡申し上げます。

4-3. 校正

- ① 採録後の校正につきましては、あらかじめご連絡いたします期限内にお願いいたします。
- ② 校正は、初校と再校の2回といたします。

4-4. 発行後の印刷物の配布について

- ① 掲載号は、印刷物としての発行をいたします。
- ② 採録された著者には、掲載号を5部贈呈申し上げます。

③ 抜き刷りが必要な方には実費で作成いたしますので、必要部数をご連絡ください。

4-5 著作権について

- ① 論文および報告の中で関係する著作権の処理は、執筆者側で行っていただきます。
- ② 掲載された論文や報告の著作権は執筆者に帰属しますが、本学会は、論文および報告等の著作権の一部として、複製権、翻訳・翻案権、公衆送信・伝達権を有することし、執筆者の許諾なく、電子化または複製により公開・配布できるものとします。

5. 投稿申し込みの提出先、提出方法、期限、申し込み内容

5-1. 提出先

和食文化学会事務局（担当：平本）〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学京都和食文化研究センター内
Email : info@washoku-bunka.jp
TEL 075-703-5251 FAX 075-703-5149

5-2. 提出方法

- ① 事務局への電子メール添付、電子媒体の持込または電子媒体の郵送とします。
- ② そのほかの提出方法については、編集委員会にご相談ください。

5-3. 投稿期限

随時投稿を受け付けます。ただし6月末日（消印有効）までに投稿のものを、当該年度の学会誌の所収候補原稿といたします。

5-4. 投稿申込書の記載事項

投稿の申し込みに当たりましては、以下の事項を「投稿申込書」として別紙に記して添付ください。なお申込書は、プリントアウトしたもの、あるいは電子記録、電子媒体のいずれでも結構です。

- ① 著者氏名
- ② 連絡先住所
- ③ 電話番号または携帯番号（ファックス番号があればあわせて記載ください）
- ④ 電子メールアドレス（*投稿以後の連絡は原則として電子メールによります）

以上